

就職試験へ模擬面接

大曲R.C.会員 大曲農高生に助言

大仙市の大曲農業高校3年生が9日までの3日間、就職試験に向けた模擬面接に臨んだ。大曲ロータリークラブ(R.C.、鎌田俊会長)会員が面接官を務め、生徒たちにアピール方法を助言した。

模擬面接には3日間で生徒54人が参加。9日は民間企業への就職を志望する18人が、飲食業や建設業などに携わる会員の面接を受けた。

生徒は「失礼します」と言いながら入室。会員から「志望動機を教えてください」「社会と学校との違いは何だと考えますか」といった質問を受け、緊張した面持ちで答えていた。会員は「すぐに答えられなくても慌てずにゆっくりと話すよう心がけて」「敬語の使い方に注意しよう」とアドバイスした。

面接を受けた渡部結絆さんは「ものすごく緊張した。準備していない質問が出た場合の対応をアドバイスしてもらったので、本番に生かしたい」



模擬面接に臨む大曲農業高の3年生

と話した。

大曲R.C.は奉仕活動の一環として大仙市内の高校で模擬面接の面接官役を務めている。14日には秋田修英高校でも実施する予定。

(三浦ちひろ)